

時間を大切に！友だちを大切に！

校長 吉濱 徳子

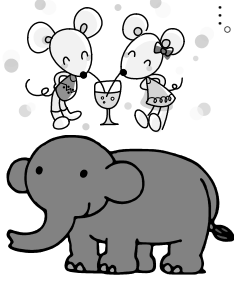
三学期スタートし、ここ石垣島も寒さを感じる今日この頃ですが子ども達は元気に遊び回っています。改めまして新年の御挨拶をさせていただきます。令和二年明けましておめでとございます。本年も子ども達、職員一同八島小の応援を宜しく願っています。

新学期スタートにはそれぞれの学年のプロになって、学年が終えられるように目標を定め、一歩一歩着実に進めるよう、また千支の「ねずみ」に掛けて「寝ず身」になるほどに、真面目にコツコツと頑張り、学年の締めくくりができる、そんなことを願いました。

家庭では子ども達が鬼ごっこ、サッカー、一輪車、と思いに駆け回っています。なかには半袖のTシャツ一枚で走り回っている子ども達もいます。二月二日（日）の持久走への取組もあり、学校中、元気な声が校舎に響いています。二月四日は立春、暦の上では春になりますが、肌寒さが続いています。運動と薄着を心がけ、しっかりと栄養をとって風邪を引かない健康な体をつくりたいものです。

さて、突然ですが、時間は平等だろうか。
本田宗一郎は「時間だけは神様が平等に与えて下さった。」といっているが、こんな本に出会いました。「ゾウの時間 ネズミの時間」という本川達夫氏の新書本です。ゾウの時間もネズミの時間も人間の時間も皆同じ二十四時間だと考えていたのですが…

「世の中には、形や色、大きさがいろいろな生物がいます。まさに多種多様です。どれももともとは同じ「生命」なのに、なぜ、こんなにいろんな生物がいるのかと思うが、その動物によって「時間」というものもそれぞれ違う。要するに、時間は同じように流れているように見えるが、心臓の拍動、寿命を考えると同じではない」ということだそうです！時間というものは、唯一絶対不変のものかと思いきや、「動物が変われば、時間も変わる」という。ゾウにはゾウの、ネズミにはネズミの、カブトムシにはカブトムシの時間と、それぞれの「体のサイズに応じて、違う時間の単位がある」ことを教えてくれます。子どもむけには「絵ときゾウの時間ネズミの時間」という本があります。ぼくたちの心臓は、一分間に六十〜七十回打つ。一秒にほぼ一回、ドキンと打つ。ハツカネズミは、一分間に六百回近く打つ。ゾウは一分間に三十回。大きいものほど、ゆっくりと心臓は打っている。体重が増えるにつれて、時間はゆっくり長くなる。ゆっくりになる方々は、肺も心臓も同じ。ほかの時間も、同じようにゆっくり長くなっていく。寿命も同じ。ネズミは数年しか生きないが、ゾウは百年近く生きる。しかし、心臓の拍動を測ると、ゾウとネズミはまったく同じ長さだけ生きて死ぬことになる。小さな動物では、体内で起こる全てのテンポが速いので、物理的な寿命は短い。一生を生きた感覚は、実はネズミもゾウも変わらない、という



人間の時間軸で考えるのではなく、様々なモノサシを持つことで、自然の中での人間の立ち位置を理解することが出来る。そうすれば、人間の世界でも見え方が違ってくるかもしれない。考えが真逆で、馬が合わない相手との世界観もだんだんと理解できるようになるのかもしれない。残された時間はそれぞれにちがう。

どう生きるのか。（私に残された時間もだんだん少なくなってきました。）時間を大切にし友だちを大切に楽しい二月の学校生活を創っていきましょう。

2月2日（日）は 場所:本校運動場及び学校周辺の道路
「◇八島っ子持久走記録会◇」です。

◆ 9:30…開 会 式 ◆ 10:45…1年スタート
◆ 10:00…3年スタート ◆ 11:00…5年スタート
◆ 10:15…4年スタート ◆ 11:15…6年スタート
◆ 10:30…2年スタート ◆ 11:45…閉 会 式

「第61回沖縄県PTA研究大会八重山大会」へのご協力ありがとうございました。



八島っ子の
安全と安心の
交通安全と防犯

八島っ子は伝統的に登校が早く、六年生を中心に朝の朝のボランティア活動をはじめ、朝の読書等に日々励んでいます。そのような八島っ子の安全・安心を守るため、学校と八重山警察署の連携により、朝夕のパトロールが日々行われています。八重山警察署の皆様、いつもありがとうございます。



学校においては、地震・津波に係る避難訓練と併せて、引き続き常に危機意識を持ち、火遊び及び防火に係るより良い指導の在り方をはじめ、児童の安全安心の確保に向け、検証を重ねながら取り組んで参ります。

現実の火災を想定して「石垣市消防団「防災教室」」
去る一月二十日、本校の一・二・三年生を対象に「防災教室」が行われました。石垣市消防団女性団員の皆様を講師に、実際に衣服に引火した際や、火災による充満した煙に巻き込まれた時、さらには消火器の使用方法等、防火に係る現実的な対応方法等について、どのような行動をとれば良いのかなど分かりやすく説明いただきました。特に、視覚に訴える多くの掲示資料や、



家庭学習
強化月間中



全国学校給食週間！

1月24日から30日

給食委員会

去る一月二十三（木）の児童集会は給食委員会の皆さんの担当でした。

一月二十四日から始まっている「全国学校給食週間」に合わせた取組となり、集会の中、委員の皆さんが準備した給食に係るクイズや、日本における給食の始まり等に関する歴史についての分かりやすい説明がありました。

中でも、八島っ子はもちろんのこと、八島小の教職員も対象にした「給食の好きな献立ランキング調査」（下表）の結果では、大きな歓声がわき起こりました。

給食委員会の児童の皆さん、給食の今昔に係る貴重な情報提供ありがとうございました。週間中は、学校給食に係る資料の校内掲示も行われています。

好きな献立ランキング

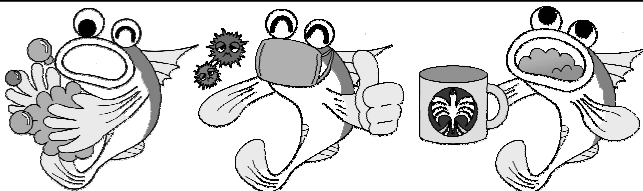
- 1位 カレーライス
- 2位 ラーメン
- 3位 そば
- 4位 スパゲティ
- 5位 ハヤシライス



祝◇旧正月



本校では、六年前の創立二十周年記念として、地域の漁業者の皆様から寄贈された「夢翼丸」（ハリー舟・サバミ）を、毎年の旧正月には「祝意」と「感謝の意」を表し、正門前にて披露しています。



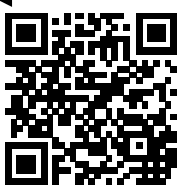
現在、県保健医療部八重山保健所管内におけるインフルエンザ患者数に係る報告が「警戒レベル」となっています。

1月20日付発行の本校保健だより『のびのび』においてもお知らせしておりますが、やはり予防方法としては、「こまめな手洗い」、「マスクの着用（咳エチケット）」、「うがい」です。

各ご家庭におかれましても、インフルエンザにうつらないよう、引き続き予防をよろしくお願い致します。



本校では、六年前の創立二十周年記念として、地域の漁業者の皆様から寄贈された「夢翼丸」（ハリー舟・サバミ）を、毎年の旧正月には「祝意」と「感謝の意」を表し、正門前にて披露しています。



八島HP

本取り組みを通して、多くの八島っ子がその日の「運勢」に心弾ませながら元気な姿と明るい笑顔で早登校し、生活リズムを整えることができました。

その後、「健全育成と地域連携」をテーマに県内各地から参集した多くのPTA会員・保護者の皆様と共に、二つの貴重な提言（南大東村立南大東小中学校PTA、竹富町立竹富小中学校PTA）を基に様々な視点からの協議等が活発に展開されました。

また休憩時間には、本校PTA会員の皆様による心づくしのおもてなしがハリー舟（サバミ）に溢れんばかりに盛り付けられ、県内各地から参集した多くのPTA会員、保護者の皆様から想定以上の大きな反響をいただくことができました。

本校PTA会員の皆様、お一人お一人の尽力添えに心より感謝致します。ありがとうございました。



- 2日（月）ユズリンコンサート 5・6年合同委員会
- 5日（木）委員会引継式 劇団「四季」観劇
- 9日（月）委員会活動
- 10日（木）音楽・音読集会
- ◇20日（金）卒業式 ※春分の日
- 23日（月）卒業式振替休日
- ◇24日（火）修了式 離任式
- 31日（火）退職辞令交付式



早登校チケット 早登校推奨月間

日々、朝の登校時間が早く、朝のボランティア活動等も活発に行われていることは、本校の特色の一つでもあります。

新学期のスタートにあたり、一月は「早登校推奨月間」としての「早登校チケット」の取組が生活委員会を中心に展開されていました。

早登校を促す早登校チケット配布の取り組みでは、生活委員会の六年生が作成準備した「おみくじ（御神籤）」になっていて「早登校チケット」を引くという「お楽しみ」の工夫がありました。